

＜身なり編＞

- ◎ 制服以外に身に付けるものについては、無地のもの（キャラクターや模様、ライン、レースや飾りボタン等の装飾がないもの）とします。特に、靴下とカーディガンについては、小さなロゴ等のワンポイントも不可とします。
- ◎ 身に付けるものにも、全て記名をします。
 ※ 上ばきについては、上から見える位置とかかとの2か所に記名をします。

【制服】

- 学校では、制服での活動を基本としますが、始業前、昼休み時間において、活動のしやすさ・衛生面・身だしなみ等を考慮し、必要な場合はポロシャツやTシャツ（白・黒・紺色のいずれかの色で、無地のもの）に着替えて活動してもよいです。ただし、登下校時は制服着用とします。
 夏服の場合は、ポロシャツやTシャツは身に付けて登校するのではなく、着替え用として持ってきます。

【制帽】

- ゴムをしっかりあごにかけ、登下校時、外遊び、外そうじ、授業中の外での活動は必ずかぶります。

【頭髪】

- 男女とも衛生的で、華美にならない、学習の妨げにならない髪型にします。
 - ・ 前髪は、まゆにかからないようにします。
 - ・ 後ろ髪は、学習に支障のない程度の長さとし、長い場合（肩にかかる程度）には、帽子をかぶる際の邪魔にならないようにゴム（紺・黒 飾り無し）で結びます。
 - ・ 結び方は、以下の点に配慮したものにします。
 - ① 子どもが1人で、短時間で結ぶことができる髪型にします。
 - ② ①の観点から、結ぶのみとし、編み込み等はしません。
 - ・ 横や後ろ髪が垂れてくる場合や、前髪が長い場合には、髪留め（紺・黒 飾り無し）で留めます。安全上の配慮から、髪留めを多用しません（多用せざるを得ない場合は、髪型や結び方を配慮します）。
- 染色やパーマをしません。ただし、事情がある場合には、学校に相談します。

学習の妨げになっていると判断される場合の例

- ・ 髪が赤白帽・水泳帽・給食帽に収まっていないとき。
- ・ 髪を留めたり結んだりする位置により、帽子をかぶる邪魔になったり、帽子をきちんとかぶったりすることができないとき。
- ・ 前かがみになると、横・前髪がたれて、文字が隠れるなど、視野が制限されたり、活動の邪魔になったりするおそれがあるとき。
- ・ 髪やゴム・髪留めに触れることが多いとき。
- ・ 髪をほどこいたり、結び直したりすることが自分で簡単にできないとき。
- ・ 水泳学習後に、短時間で乾かすことができずに学習に集中できなかつたり、髪の毛の結び直し等に時間がかかたりするとき。

【更衣】※ 更衣期間はなくなります。

- 体調や天候等を考慮して、夏服もしくは冬服を着用します。夏服着用の際は、白・黒・紺色のカーディガンを着用してもよいです。
- 入学式（1・6年のみ）、卒業式（5・6年のみ）の時は、全員冬服とします。

【制服の下に着用するもの（下着を含む）】

- 制服の下に着用してもよいものは、以下のものとします。
 - ・ 下着
 - ・ セーターやベスト、フリース素材のシャツやトレーナー、ダウンベスト、ダウンジャケット
 - ・ Tシャツやポロシャツ
 - ・ インナーパンツ（スカートの下）
 - ・ ハイネックのシャツ
- ※ ハイネックとは、お返しがないものをいいます。基本的には、あごにつかない長さとし、また、安全のため、首回りにチャックやボタンのないものとし、首元が動きやすいような生地や厚みを配慮します。

- 制服の下に着用するものについては、以下の点に留意します。

《共通》

- ・ 白・黒・紺色の無地のもの。
- ★ 制服の袖、裾から出ないもの。
- ・ 子ども自身がすぐに着替えることができるもの。
- ★ 入学式・卒業式では、襟や袖から見えない服装にします。

《インナーパンツ》※スカートの下に着るもの

- ・ インナーパンツについては、黒の無地のもの。
- ・ スパッツなどのかさばらないもの。
- ・ お辞儀をしても見えない長さのもの。
- ・ 子どもが容易に着脱できるもの。

《Tシャツ、ポロシャツ》

- Tシャツやポロシャツに着替えて活動をしてよいのは、以下の場合とします。
 - ・ 始業前や昼休み時間
 - ・ そのほか、教師から連絡のあった活動時
- 遠足や校外学習時の登下校において、教師が可と判断したときは、無地のTシャツやポロシャツを着用してもよいです。
- 体育服は、上下とも、制服の下に着用しません。

【制服の上に着用してもよいもの】

- 天候や体調に応じて、上着、手袋、マフラー（短いもの）、ネックウォーマーを着用してもよいです。ただし、以下の点に注意します。
 - ・ 原則、登下校時のみの着用とし、学校に到着後はランドセルに入れます。
 - ・ 上着は、安全上の観点からフードのついていないものとします（着脱可能である場合は、外します）。
 - ・ 上着の裾の長さは、お尻が隠れる程度までの長さとし、お尻が隠れる程度、袖は手を隠さない程度の長さのものとし、
- 夏服着用時には、天候や体調に応じて、カーディガンを着用してもよいです。以下の点に注意します。
 - ・ 白・黒・紺色のものとします（ワンポイント不可）。
 - ・ 裾はお尻を隠さない程度、袖は手を隠さない程度の長さのものとし、

【首回りに配慮が必要な例】

- 毛糸、ダウン、フリースなど厚手の生地
- 首が閉まるようなきつちりした生地
- 首のところがチャックになっている

- ・ 着用中は、制服と同様に前のボタンを留めます。

【名札】

- 名札は、校内のみ着用することとします。登校してから着用し、下校時に着脱します。
- 校内での生活・学習中は、胸ポケットの位置に付けます。
- オンラインや撮影時には、名札を付けないようにします。
- 朝の時間や昼休みに運動場で遊ぶ際は、教室で名札を外します。

【靴下】

- 基本的には、白(床に接する部分が黒・グレーのバイカラーも可)、黒、紺色のスクールソックスとします。
- 天候や体調に応じて、白・黒・紺色のハイソックスを着用してもよいです。

【靴】

- 白の運動靴とします。

【上ばき・体育館シューズ】

- 上ばきと体育館シューズの指定はありません。ただし、上ばきは、布地部分は白で、先の方だけに色がついているもので、かかと部分が補強してあるものです。フリル・キャラクター・模様が付いているものは使用できません。
- 上から見える位置と、かかとの2か所に記名をします。

【体育着・活動着】

- 体育着と活動着は、学校で指定したものとします(売店で販売)。
- 体育の授業では、原則、体育着や活動着を着用します。
- 体育の授業を見学する時は、制服でよいです。

【水着】

- 水着については、スクール水着を基本とします。ラッシュガードを着用してもよいです。

【登下校について】

- 徒歩で通学します。
- ※ 徒歩通学範囲外の人は、バス通学可とします。
- ※ バスに乗るときは、他に乘っている人のことを考えて、マナーを守って利用します。
- ※ 自家用車での通学はしません。ただし、自力通学ができないけが等、特別な場合を除きます。そのときは、担任の先生に連絡します。
- 交通ルールをしっかりと守ります。
- 習い事や塾等に行くときは、決められた下校場所に一度帰ってから、私服に着替えて行くようにします。制服では行きません。
- ※ 下校場所とは次の3つです。

- ・ 自宅【本校推奨】
- ・ 親戚宅
- ・ 保護者の勤務先

- 下記の施設を利用する場合、次のことに気を付けます。

- ・ 児童館、児童センター
- ・ 児童クラブ、学童保育

- ・ これらの施設などから塾や習い事に行く場合は、一度自宅に帰って、私服に着替えてから行きます。制服では行きません。
- ・ 車での送り迎えを目的として利用することは、施設に迷惑となるのでしません。
- ・ 児童館や児童クラブ等の施設等から帰宅する場合は、本校の下校場所（自宅・親戚宅・勤務先）のどこかへ帰宅します。
- 制服のままで、近隣の店舗等を利用しません。
- 道いっぱいには広がらないように、壁側を歩いて登下校します。
- 登校の目安は、午前7時20分から午前7時50分です。
 - ・ 午前7時50分までに校門を通過します。
 - ・ 午前8時までに朝の活動ができる準備をします。
- 人通りの少ないところを通るときは、十分気を付けて通ります。危ないと思ったときには、大人に助けを求めます。
- 防犯ブザーを身に付けます。
 - ※ ランドセルの外側に付けたり、首にかけたりしてもよいです。
- 登下校は、日傘を使用してもよいです。

【下校後、休みの日の過ごし方について】

- デパート（ショッピングセンター）やゲームコーナー、映画館、カラオケ店、レンタルショップのお店等には、子どもだけで行ってはいけません。必ず大人と一緒にいき、子どもだけで行動することがないようにします。また、川や海、山等の危険な場所には絶対に子どもだけで行きません。
- 自転車に乗る範囲は、お家の人と話し合っ決めて決めます。
- 帰宅時刻をしっかりと守ります。
 - ・1学期は午後6時、2学期は午後5時までに家に着いておきます。
- 道路、駐車場等、危険な場所では遊びません。また、火遊び、エアガン等危険な遊びをしません。
- 人気の少ないところでは、不審者にねらわれやすいので、子どもだけで遊びません。
- 原則として、友達の家には泊まりません（宮崎市内の全小学校も同じじまりです）。

【身なりについて】

- 「ささの葉っ子ルールブック 身なり編」で決められたものを身に付けます。

【持ち物について】

- 学習に必要なものを持ってきません。
- 学用品だけでなく、持ち物にはすべて名前を書きます（ハンカチやティッシュ、靴下等）。
- 学用品は、原則として無地のものを使用します。キャラクターがのっていたり、においがついたりするなど、学習のさまたげになったりするものは使用しません（詳しくは、「学びの約束」を見ましょう）。
 - ※ クリアファイルやメモ帳、自由帳についても同じです。
- ランドセルの横にあるフックには、ものをかけません（防犯ブザーのみ）。
- ハンドクリームは、においのしないものは持ってきてもよいです。携帯できる消毒用アルコールは、持ってきません。
- 寒い日は、座布団やひざ掛けを持ってきてもよいです。ただし、学用品と同じように華美ではないもの、装飾のないもの、キャラクターののっていないものとします。使わないときや放課後は、ロッカーに片付けます。椅子の上に置いたままにしません（研究会の日は使いません）。

【整とんの仕方】

- ぬいだはきものは、きれいにそろえます。
 - ・くつばこ、特別教室、トイレ等
- 体育着、上ばき入れ、ブックバッグ等は、教室後方のロッカーに整とんしておきます。机の横には掛けません。
 - ※ 現在は、持ち帰りをさせるためにランチョンマットのみ机の横にかけてもよいことになっています。
- 帽子やバスカードはランドセルの中に入れて、教室横（後ろ）のロッカーに片付けます。

【休み時間】

- 休み時間は、学習用具の準備とトイレや水飲みを先にすませ、落ち着いて過ごします。先生の許可のない限り、タブレット型端末は使用しません。
- 他のクラスには、先生の許可を得て入ります。
- 特別教室へは、先生の許可を得て、先生と一緒に使用します。勝手に入りません。
- 外で遊ぶ時には、基本的には運動場で遊びます。室内で遊ぶときは、静かに過ごします。
- 中庭では靴をはきます。中庭は、おしゃべりや植物を見るなどを楽しむ場です。走り回ったり、花だん等にのぼったり、大きな声を出したりはしません。
- 自分が使ったものは、きちんと後始末をします。
- 北校舎や西校舎には、用事があるときだけ無言で行きます。特別教室では、静かに過ごします。

【廊下歩行】

- お客さんや先生には、自分からあいさつや会釈をします。
- 廊下や階段では、いつでも右側を静かに歩きます。特に、西校舎や北校舎は、おしゃべりをせず、足音にも気を付けます。
- 廊下のベンチは使用しません。
- 事務室の前は通りません。
- 多目的室は通り抜けません。
- 雨の日や床がぬれているときは、2階東渡り廊下、3階渡り廊下、外階段は通りません。

【言葉づかい】

- 友達には、「さん」付けをします。
- 先生や大人の人と話すときは、敬語を使います。
- 相手の気持ちを考えた言葉づかいをします。

【無言の場】

- 「附小5つの無言の場」を守ります。
 - ・ 給食の準備
 - ・ 教室移動（給食の片付け時、下校時も含む）
 - ・ 集まる時
 - ・ 放送中
 - ・ そうじ中

【その他】

- 携帯電話やスマートフォン、GPS等を持ってきてはいけません。もし、家庭に連絡しなければならないことが出てきたときは、担任の先生に相談し、先生から連絡してもらいます。
- ※ GPS（通信・通話機能の付いた携帯電話やスマートフォンを除く）については、どうしても持ち込む場合は、誓約書を提出します。誓約書に書いてあることを守り、自分で保管することとします。
- 携帯電話、スマートフォン、パソコン、ゲーム等は、家の人との約束を守って使います。
- 手洗い、うがい、部屋の換気を行い、感染症の予防をしましょう。